

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版Ver.2 (BPI/BEI対応) | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v.2.11)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社奥村組 九州支店社屋・寮	階数	地上6F
建設地	福岡県北九州市八幡東区山王二丁	構造	S造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	87人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	事務所、工場、病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年3月 0.0	評価の実施日	2015年3月20日
敷地面積	949 m ²	作成者	株式会社奥村組
建築面積	713 m ²	確認日	2015年3月23日
延床面積	3,346 m ²	確認者	株式会社奥村組



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 ①参照値 100%
 ②建築物の取組み 87%
 ③上記+②以外の 87%
 ④上記+ 87%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 4
 Q3 室外環境(敷地内): 3
 LR2 資源・マテリアル: 3.9
 LR3 敷地外環境: 3.0

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.1

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合 建物利用者の快適な生活環境を維持する為室内環境を整え、さらに建物の耐用性・信頼性・機能性を高めた。また、環境負荷に配慮し省エネルギー性を高めた建物とした。そして周辺環境を考え、敷地内にはできる限りの緑化を計画した。	その他 外構に再生クラッシュランを採用している。	
Q1 室内環境 内装の仕上げにF☆☆☆☆を使用し、化学物質の発生に配慮している。	Q2 サービス性能 躯体材料の耐用年数が長くなるよう配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) できる限りの緑化を設け、視点場からの良好な景観を形成するよう配慮している。
LR1 エネルギー 太陽熱を利用している。	LR2 資源・マテリアル 汚染物質含有材料の使用を回避するよう配慮。雨水を利用している。 躯体と仕上げ材を分別しやすいように配慮している。	LR3 敷地外環境 自転車置場や駐車スペースを適正に確保し、地域インフラへの負荷抑制に努めている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される